



日本顕微鏡歯科学会

# 第6回 歯科衛生士セミナー

セミナー担当：池尻 敬

渉外広報担当理事：菅原佳広

## 第6回 歯科衛生士セミナー

---

### マイクロスコープで叶えるチーム医療 伝える・伝わる 『アシスタントワークについて』

DH 宇野菜都美  
デンタルクリニック K

マイクロスコープ診療におけるアシスタントワークで大切なことは、術者が見ている拡大視野下の情報をアシスタントも共有することです。それを実現するには、①モニターを活用すること②術式を熟知すること③画像のクオリティを向上することが重要だと私は考えています。そこで今回は術者とアシスタント、そして患者との間で情報を共有する際の伝え方、伝わり方について当院で行っていることをもとに、お話させていただきます。

## 第6回 歯科衛生士セミナー

---

### マイクロスコープで叶えるチーム医療 伝える・伝わる 『記録のメリットについて』

DH 浅子玲菜  
デンタルクリニック K

---

私は2017年にデンタルクリニックKに新卒で入社し、現在7年目になりました。

3年目からマイクロスコープを使い始めたものの、なかなか思うように使いこなせず苦戦しましたが、マイクロスコープ特有のメリットである「記録」を活用し始めたことにより、技術を向上させることができたと感じています。

今回は、私がどのようにしてマイクロスコープを使えるようになったのか、後輩の育成に活用している事例も含めてお話させていただきます。

## 第6回 歯科衛生士セミナー

---

### マイクロスコープで叶えるチーム医療 伝える・伝わる 『認定歯科衛生士制度を活用したチーム医療について』

DH 小田亜里奈

医) 昭栄会 はたなか歯科クリニック

---

当院は、以前から導入していた担当歯科衛生士制に加え、2016年より顕微鏡を用いた歯科衛生士業務を行っています。そのため、当院では歯科衛生士が顕微鏡を扱う技術は必須となり、新卒採用や顕微鏡の経験のない中途採用者は不安を覚えることがあると思います。そこを解消するために普段から私たちが取り組んでいる「認定歯科衛生士制度を上手く活用する」ことで、強固なチーム医療を作り出す方法を紹介させていただきたいと思います。

## 第6回 歯科衛生士セミナー

---

### マイクロスコープで叶えるチーム医療 伝える・伝わる

#### 『医院の中で有効にマイクロスコープを共有する方法について』

DH 増田梢

医) 八龍会 すずき歯科医院

---

チーム医療とは、スタッフが互いに連携して治療を行うことです。その中で、医院としてマイクロスコープを活用するということは、それらを叶える大きな力です。

マイクロスコープというひとつのツールから得た情報を伝えたい相手は複数になります。当院は歯科医師と歯科衛生士が共に複数在籍し、マイクロスコープと情報を共有しています。今回は歯科医師と歯科衛生士へ向け①マイクロスコープを共有する工夫②歯科衛生士教育の中から、マイクロスコープの使用法をふくめた新卒教育③歯科医師と歯科衛生士のチーム診療について紹介します。